

山形県議会議員選挙

鶴岡市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会



佐藤 自民党公認
ひろのぶ さと

一生懸命！ 47才

私は農村部に生まれ、地域の方々から育てて頂いたことに感謝し、鶴岡市職員となりました。市役所では農林水産部及び建設行政に併せて約20年間携わりましたが、「地域が良くなるための行政運営には、政治が必要不可欠である」事を強く感じ、市議会議員へ立候補して2期当選させて頂きました。「10年後の理想を語る」ことよりも、今日をどう生きていくのかを考え、勉強させて頂きました。

国・県・市が、繋がっていない地域が豊かにはならないと思ひ、内陸・庄内の格差を是正するためには、県政への発言が特に重要と考えております。子供からお年寄りまで安心して暮らせる大好きな鶴岡のため、農林水産業が元気で活力ある山形・鶴岡をつくるために、若い力で「一生懸命」頑張ります。

基幹産業である農林水産業を元気に！

- ・担い手の確保
- ・米価と所得の向上
- ・園芸作物など高収入作物の推進
- ・スマート農業の推進
- ・販売ルートの拡充
- ・鳥獣害対策
- ・ほ場の再整備

観光で日本一訪れたい鶴岡に！

- ・各種国内イベントの流れから山形、鶴岡に足を運んでもらえる企画
- ・食文化の発信
- ・精神文化や日本遺産のPR
- ・湯田川・湯野浜・温海温泉のPR
- ・庄内空港、インフラ整備など

スポーツで健康とコミュニティづくり！

- ・子どもからお年寄りまで、全ての県民が集えるイベントや施設の整備
- ・サッカー場やグラウンドゴルフ場などの整備
- ・スポーツタレントの更なる拡充など

人口減少対策と地域活性化を！

- ・若者の移住定住が促進出来るような環境整備
- ・魅力ある企業と所得の確保
- ・U・I・Jターン促進
- ・子育て支援
- ・福祉の充実
- ・空家対策など

災害に強い地域づくりで県民に安全を！

- ・多発する河川や土砂災害などに對して早期整備
- ・湯尻川、黒瀬川、藤島川、京田川の早期整備促進
- ・急傾斜地や道路冠水の整備

人と人とのつながりを大切に！
『県政の場で発言』
してまいります。

- 昭和46年7月鶴岡市生まれ
- 大泉小学校、鶴岡第一中学校、鶴岡工業高校建築科、東北学院大学工学部を卒業
- 平成6年4月より鶴岡市役所に勤務
- 平成25年10月鶴岡市議会議員初当選・2期
- 農林水産部専門技術者
- 猟友会鶴岡支部副会長
- 鶴岡市スポーツ少年団本部本部員
- 大泉剣道スポーツ少年団指導者
- 庄内スケート協会指導員
- 鶴岡市消防団ラッパ隊員
- 鶴岡相撲連盟 顧問
- じろで庄内 顧問
- 鶴岡ソフトテニス連盟 顧問



自民党公認
佐藤 50歳

やまがた創生に全力投球！！

鶴岡から山形を元気に！

少子化、人口減少が進行する中、若者の定着・回帰のため、地域資源を活かした魅力ある鶴岡・庄内づくりに全力で取り組んでいます！

鶴岡・庄内に活力と若者を呼び込む産業政策

- 地域社会を守る、持続可能な農林水産業の確立
- 農林水産品のブランド化やスマート農業、圃場整備等を推進
- 地場産業・地元企業の競争力強化への支援拡充

鶴岡・庄内と国内外をつなぐ高速交通網整備

- 庄内空港への格安航空会社（LCC）、国際定期チャーター便の就航実現
- 庄内空港滑走路延伸へ向けた検討・調査を加速
- 豊かな食文化や精神文化を国内外に発信し、観光交流人口を拡大

鶴岡・庄内の未来を担うひとづくり

- 庄内地区の教育環境充実を図るため、県立中高一貫校を設置
- 医療・介護・保育等、健康福祉を支える人材を育成・確保
- 若者も高齢者も女性も障害者も、誰もが多彩に活躍できる環境づくり

鶴岡・庄内を自然災害から守る県土強靱化

- 河川改修や危険な道路の改良を促進
- 津波避難路整備やハザードマップ策定を進め、県民の防災意識を向上
- 災害に即応できるよう行政や医療機関の危機管理体制を強化

佐藤さとしプロフィール

- 昭和四三年生まれ五〇歳
- 西郷小学校・西郷中学校・鶴岡南高等学校卒業
- 平成三年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
- 日本航空株式会社 羽田空港、関西空港、中国・北京支店、空港本部空港業務部に勤務
- 平成一七年 鶴岡市議会議員当選（三期）総務常任委員長等歴任
- 平成二七年 山形県議会議員当選 農林水産常任委員長等歴任
- 家族：祖母、父、妻、息子二人
- 趣味：旅行、登山、キャンプ、中国語学習



鶴岡の願い 県政へ、安倍暴走ストップ



せき けんじ
関とおる
日本共産党

県議会に送っていただき、非正規雇用の正社員化、学童保育利用料の軽減制度などを実現することができました。

消費税増税、戦争する国づくり―安倍暴走政治が押し寄せるなか、国のいいなりの県議ばかりでは、くらしも平和も守れません。皆川市政を支える県議として、安倍政権を終わらせ、誰もが安心して暮らせる鶴岡をめざし頑張ります。みなさんのお力で再び県政へ送ってください。

新しい県議会に提案します

- 公費一兆円支援で国保税引き下げを
- 介護保険の負担軽減を
- 子ども医療費は高校卒業まで無料に
- 学校給食費の無償化
- 学校の先生の増員を
- 小規模・家族農業支援の強化

安倍政権に審判を

- 消費税10%増税ストップ
- 家計もマイナス、生活が苦しい時に、消費税10%増税はとんでもありません。関とおるへの一票で、増税中止に追い込みましょう。
- 8時間働けば普通に暮らせる社会に
- 憲法9条を守る



- 関とおる プロフィール
- 1960年三和町生まれ。長者町在住。朝陽一小、第三中、鶴岡西高、文教大学卒。
- 庄内医療生協に就職。山形県労働連副議長、一小、三中、中央高校、南高校PTA役員など歴任。● 鶴岡市議3期。県議1期。

平成31年4月7日執行

山形県議会議員選挙

鶴岡市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会



今野みな子プロフィール
朝陽第三小学校、鶴岡第二中学校(バスケットボール部)、
鶴岡北高等学校、城西大学、
日本女子大学大学院(通信制在学中)
中学校教員(数学)退職後、鶴岡市議会議員当選
日本学校教育相談学会、山形県支部 理事
日本教育カウンセラー協会認定 上級カウンセラー
スクールカウンセラー推進協議会認定
ガイダンスカウンセラー

県政に届けよう 女性目線の声を!

- * 障がいのある方、介護を受けている方、がん患者等ご本人及び、そのご家族の方(ケアラー)を支援します。
- * 一人ひとりを大切にしている教育を推進します。
- * 合唱・芸術等の文化及びスポーツ文化の発展に努めます。
- * 教員等の多忙化解消策の前進を図ります。
- * 病児保育・児童相談所等、各支援体制について時代に即した視点での改善を訴えます。
- * 海・山・里の恵みを残し、庄内の食文化を発信し活かします。
- * より便利な生活となるICT(情報通信技術)活用を促します。
- * 女性に関する医療の拡充と庄内の医療の広域化を進めます。



今野
みな子
(59歳)

テーマは「家族の幸せ」

意見を伝えて進めよう! 私たちの目指す未来!!



たかはし
高橋
じゆん

山形県基幹産業の農業政策は勿論、県民及び地域住民の生活向上と地域活性化を目指し「考動」と「行動」を行います。

① 魅力ある農林水産業の里づくり!

- 農林水産業の人材育成・確保・定着(確実な事業継承、労働力支援機能の充実、地域住民などによる参加拡充)
- 山形県農畜産物のトップブランド化(消費者の信頼にこたえ、安全・安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる農業政策とプラスα)
- 庄内地域が一層魅力を増す景観形成の推進

② 中小企業等のイノベーション拡大!

- 農工商・産学官連携などによる事業の拡充(地域経済活性化の支援強化)
- 中小企業などによる知識・技術等の共有(異業種との交流会促進)
- 革新的な新事業の創出

③ 子育て・教育・福祉の充実、貧困の解消、労働者の生活向上!

- 安心して子育てをしながら働ける環境整備(学童保育の充実、地元企業運営による保育施設整備、経済格差による教育格差の解消)
- 今後予想される生活インフラ機能の低下、地域経済全体の停滞による、買い物困難者及び高齢者支援、地域コミュニティの充実
- 地域勤労者の生活向上と雇用条件の改善(働き方改革関連法を踏まえ、賃金引上げ、正社員化、格差是正、教職員の多忙化解消など)



しだ
志田
ひろふみ

受賞祝賀会の席で、「東京の息子が、私のことを気づかってくか、技術を生かせる職場があれば戻りたい」と言ってきた」とのお話。山形県の人口は、自然減少と転出超過で年間一万人程が減少しています。この減少スピードを少なくとも、鈍化させる必要があります。移住・定住の主たる課題は、職と住居です。引き続き職のマッチングの精度を高めることが重要です。国は、一世帯上限百万円の移住支援金制度を創設、県は約百二十件分を予算化しました。この制度を追い風にするとともに、受け手側の地元企業に対する支援策も必要と考えます。

平成の次なる新たな時代に向けて

- 頻発する豪雨災害について、緊急河川流下能力向上対策や地域防災力評価型事業を活用、減災・防災対策を進めます。
- 障がい者福祉バス新車導入、手話言語条例制定等の取り組みを進めて来ました。同時に、より一層の障がい者への県民の理解・啓発を進め、真の共生社会の実現に努めます。
- 経営感覚を有する人材の育成、生産性向上のための農家負担減の基盤整備、水稲の早生品種や収益性のある品目の開発等を進め、競争力のある農業づくりに努めます。生産農家の六割は、中山間地であり、県内農業の土台を担っています。平場との耕作不利益を補填する取り組みを引き続き進めます。
- 森林ノミクスをさらに加速化。事業体の平均素材生産性が全国基準に比べ低位にあり、高性能林業機械の導入等生産性向上を図る必要があると考えます。
- 少量多量の我が県漁業です。蓄養施設、高度冷凍設備導入等による出荷調整や加工品開発等を進め、消費者ニーズに的確に応えられる取り組みの確立を目指します。
- 観光を重要な産業と位置付け、広域連携の確立や現在二十万人のインバウンドの更なる促進、観光素材の発掘等、環境整備を進め、交流人口の拡大を図りつつ街中賑わいに努めます。
- 県の文化財への取り組みを見直す必要があります。県立博物館には、プロパーの学芸員は一人もいません。専属の学芸員や学芸員としての県職員専門職採用、未登録文化財の発掘や調査・保存・研究のための県内博物館等との連携強化、国の法改正に伴い可能となった文化財担当課の県教委から知事部局への組織改編に努めます。
- 県の中期道路計画に鶴岡JCT・五十川IC、345平沢等、主要箇所を入れ込むことが出来ました。今後は、事業化に向けて引き続き努力します。
- 庄内空港の滑走路500m延長のB/C調査促進に努めます。
- 特別支援学校の非常勤看護師は、校外活動には同行出来ず、対象生徒も修学旅行等に参加出来ませんでした。看護師が同行出来る様に努めるとともに、非常勤看護師の配置も目指します。